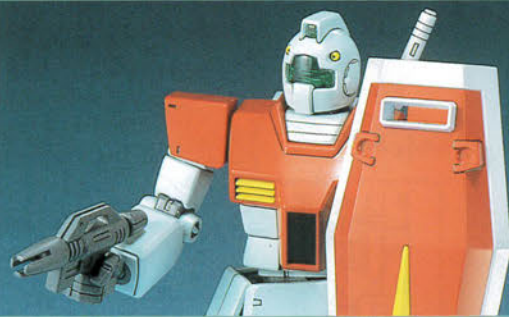


ビーム・サーベル



アクションポーズ

ビーム・スプレーガン



リアビュー



RGM-79 'GM'

E.F.S.F. MASS PRODUCTIVE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RGM-79
TOTAL HEIGHT : 18.0m
WEIGHT : 41.2t
TOTAL WEIGHT : 58.8t
GENERATOR OUT PUT : 1250kw
THRUSTER GENERAL OUT PUT : 55500kg
MATERIAL : TITANIUM ALLOY
ARMAMENTS : BEAM SPRAY GUN
BEAM SABER
60mmVULCAN



1/144 SCALE
HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2001 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。

0101787

**BAN
DAI**

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

- 本体等：
 - ホワイト (90%)
 - +インディブルー (5%)
 - +デイトナグリーン (5%)
 - ※または、ガンダムカラー ホワイト7
- 関節部、武器等：
 - ニュートラルグレー (70%)
 - +ミッドナイトブルー (20%)
 - +ネービーブルー (10%)
 - ※または、ガンダムカラー グレー18
- 胸部等：
 - シャインレッド (60%)
 - +モンザレッド (30%)
 - +オレンジ (10%)
 - ※または、ガンダムカラー レッド5
- ビーム・サーベル (ビーム部)：
 - 蛍光ピンク (100%)
- 胸部インテーク等：
 - イエロー (95%)
 - +オレンジイエロー (5%)
 - ※または、ガンダムカラー イエロー1
- ビーム・サーベル (グリップ)、シールド：
 - ホワイト (100%)

RGM-79 "GM"

U.C.0079年10月。RGM-79ジムの本格的な量産が開始された。それらは、RX-78の基本構造に基づいて再設計され、脚部やマニピュレーターなどの構造は、モニタリング装備やオプションの機動装備などを除き、ほぼそのままのスペックで建造された。ただし、いわゆる“万能型”ではなく“余分な”装備をオミットするというコンセプトに基づいていた。つまり、投入する環境をあらかじめ選択することで、一方の装備は不要となる。その分、機体の軽量化とプロポーションの増加が可能となる。この構造は巧妙にシステム化され、基本的にはコア・ブロックと同等の中核ブロックを換装すること

で、投入環境を選択できるようになっていたのである。実際、そのブロックを除いた機体部品の共有率は九割以上とされ、ひとつの生産ラインで地上用と宇宙用の機体を生産することも可能であったという。そして、ジャブローにおける第一次生産機として、地上用の機体が42機生産され、初期の部隊編成に使用された。続いて細部に設計変更が施された後、およそ6ヶ月（同年12月以降に奪回されたカリフォルニアベースなどを除く）を生産拠点として、いわゆる第二次量産機が、終戦までに288機生産されていると言われている。ちなみに、開発系統的に“RX-78を経由しない”機体も数種開発、あるいは先行量産されており、いわゆる“ジム”と呼ばれる機体の生産、平均スペック、投入時期や評価などを著しく混乱させている。問題なのは、それらを含めるまでもなく、一年戦争時に生産された「連邦軍製MS」の実際の総生産数自体、全くもって不明瞭であることだろう。

メインカメラ

コクピットハッチ

レッグユニット



バックパック

俗に“ランドセル”とも呼ばれる背部構造は、メインスラスタとサブジェネレーターのサーキットなどのほか、ビーム・サーベルのタキシングユニットで構成されている。

SPEC

型式番号：RGM-79
全高：18.0m
本体重量：41.2t
全備重量：58.8t
ジェネレーター出力：1250kw
スラスタ総推力：55500kg
装甲材質：チタニウム系合金
武装：ビーム・スプレーガン
ビーム・サーベル
60mmバルカン砲

▼ビーム・サーベル RGM-79が装備するビーム・サーベルは、基本的にRX-78のものと同じ性能を持ち、基本装備数が1本であることから判るように、稼働に関する信頼性はかなり高かったようだ。

シールド

連邦製のMSに標準装備される防弾装備。堅牢さよりも衝撃吸収／拡散を目的としている。防御姿勢のフレキシビリティをさらに向上させるため、マウントラッチやスライドハンドルなどが改善されている。

▲ビーム・スプレーガン RX-78のビーム・ライフルに比べて射程は短いものの、近距離では十分な効果を発揮する。標準武装としたことが、何よりの威力であった。ただし、戦争後期は特に耐ビーム処理が施されている機体も多く、近接戦闘を余儀なくされるケースも多かったと言われている。



協力：ホビージャパン

RGM-79 ジム

ジムは、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および映画版「機動戦士ガンダムⅡ 哀の戦士編」「機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙編」に登場した地球連邦軍の量産型MSである。U.C.0079年11月30日、連邦軍の総司令部が唇を構えるジャブローが襲われた。起死回生を期す公国軍が、大部隊の投入を前に秘密部隊による破壊工作を展開したのだ。公国軍潜入部隊を買っ先に発見したのは、ホワイトベースに身を寄せる難民の「お手ひちゃんたち」こと、カツ、レツ、キッカの3人であった。彼らは、ホワイトベースから降ろされる事を嫌い、基地の託児所から逃げ出したのである。行くあてもなく広い倉庫にたどり着いた3人は、そこに見慣れたMSを見つける。「あつ、ガンダム!」「でもちょっと違うぞ?」「ひゃっ、何か動いた!?」その人影こそ、ジャブローに忍び込んだ公国軍の工作員だった!! ……そんな、小さな防衛線の大活躍をよそに、公国軍は間もなくジャブロー降下作戦を展開した。勇躍、連邦軍が誇る量産型MS“ジム”が迎撃に向かう……!!

■RGM-79 GM (ジム) デザインワークス (コンセプトデザイン：カトキハジメ)

RGM-79 GM 80-HSUC



「ジム」のリニューアルデザインにおいては、腰部をはじめとする各部の大胆かつフレキシブルな可動と、連邦製量産型モビルスーツとしてのシンプルかつ合理的なプロポーション、及びディテールの再現が重点的なポイントと言える。

illustration work
Drawn by SHINO MASANORI
CG Work by FURUKAWA TAKAYUKI

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

(組み立てる時の注意) ● 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。● 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

注意 (ちゅうい)

- 緑部が鋭い箇所がありますので、注意してください。● 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。● 部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。● 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。



・接着をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に関しパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作り出す



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



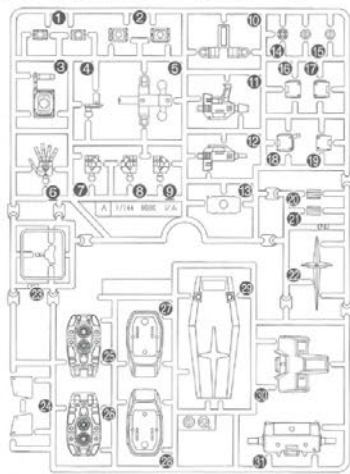
・どちらかを選んで取り付ける



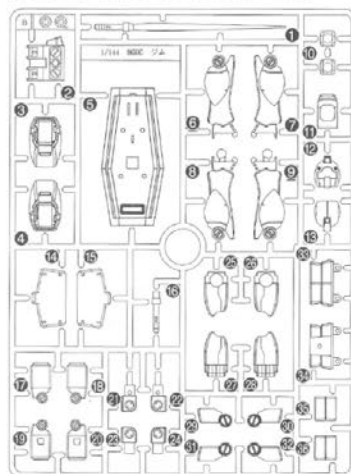
・反対側も同じように動かします

パーツリスト

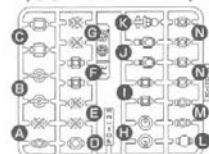
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



Bパーツ (スチロール樹脂: PS)

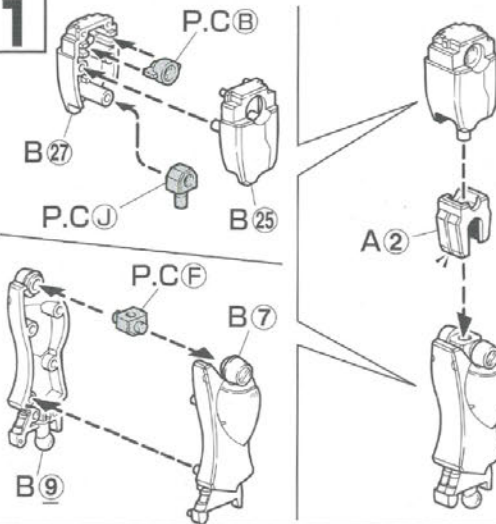


<P.C-123プラス>
(ポリエチレン: PE)

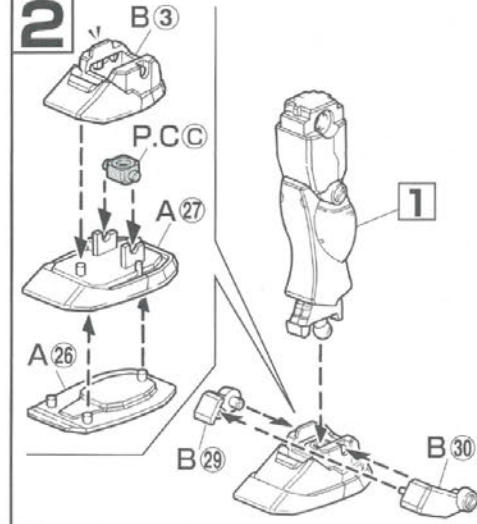


● シール……………1

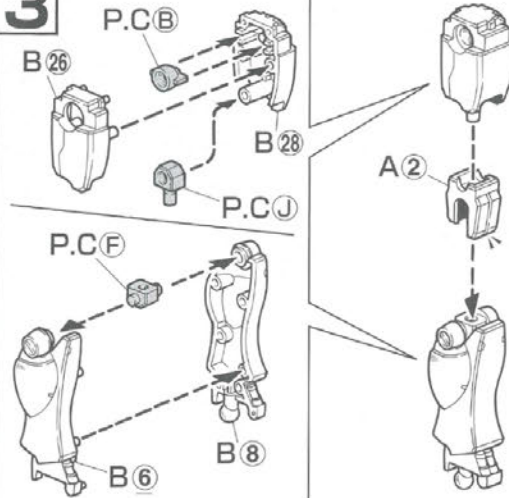
1



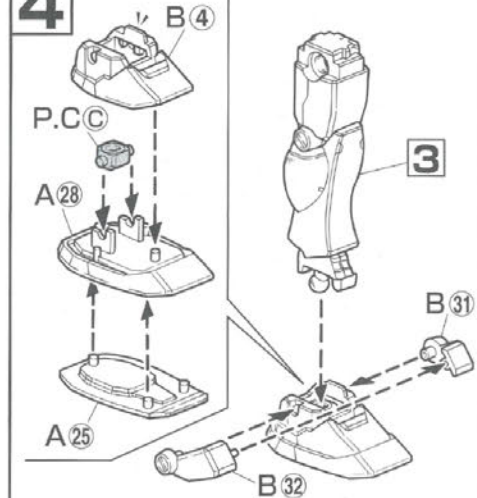
2



3



4



5

